

夢の設計図

やりたい仕事や実現したい夢 **その仕事や夢を選んだ理由**

小児科・俳優

- ・演技が好き
- ・人を笑顔にしたい

その仕事や夢を実現するために必要な条件(資格など)や力、お金はなんだろう

- ・塾代・英語代・そろばん代
- ・オーディションをうける・中学校への代

年齢	必要な能力を身につけるためにやること
11才 12才	小学校 ・清潔・笑顔・理系 ・優しく、心おだやか・四天王寺中学校に合格するために勉強
13才 15才	中学校 ・四天王寺中学校合格!! 優しく、心おだやか ・演劇部入・清潔 ・理系・笑顔 ・内閣進学への勉強
16才 18才	高校 ・四天王寺高等学校合格!! ・医志コース入・大阪国大への勉強 ・清潔・理系 ・笑顔・優しく、心おだやか
19才 20才	大学 ・大阪国大合格!!・笑顔・理系 ・医志コース入・清潔・優しく、心おだやか ・医師国家試験への勉強・清潔 ・オーディション練習・笑顔・優しく、心おだやか
21才 22才	大学 ・医師国家試験への勉強・清潔 ・オーディション練習・笑顔・優しく、心おだやか ・医師国家試験への勉強・清潔 ・オーディション練習・笑顔・優しく、心おだやか
23才 24才	成人 ・医師国家試験への勉強・オーディションをうける ・医師国家試験合格!!・オーディション合格!! 俳優・医師への道人進出!
25才	世界初の小児科・俳優 両立成功!!

仕事以外であなたが大人になったらやってみたいこと、実現したいこと

- ・出産・子供2人
- ・家族を大切にす
- ・外国人とおしゃべりする
- ・道はたなど人を救う
- ・人間性を大切にす
- ・しんどい人との手話

世界初の…

大阪教育大学附属天王寺小学校 五年 石田 迪凜

人を笑顔にしたい、絶対に人のためになりたい。そう思ったのは、小学校に入ってからだった。家族が笑顔でいるとこちらも自然と笑顔になる。怒っているとこちらも怒ってしまう。人って自然と感情が変わる。それなら病と闘っている人も怒ってしまう人も、自然と笑顔になるのではないだろうか。そう考え始めた。人を笑顔にする仕事。そうだ、医師は病を治して自然に笑顔にさせられるんだ。

医師になろうかなと、考えた私はふと思いだした。小さい子が好きな私には、今年二歳の弟がいる。弟が病になって病を治してくれたのは小児科医である。病が治ると弟は笑顔で手をふっていた。その時、私は小児科医になって小さい子供を笑顔にしてあげると決めた。また、人の前で発表などをするのが好きな私はテレビでも活躍したかった。なので、俳優になるという選択肢もあった。家族や友

達に相談すると「両立したら？」と、勧めてくれた。その選択肢もあるのかと、心の中で叫んだ。そのまま未来の話をすることが、少なくなった。

五年後の今、私は両立することを決めた。調べてみると、今まで医師と俳優、両立した人はいないそうだ。決めた。世界初の医師と俳優を両立できた女性になると。しかし、今の段階では最初の一步も踏めなさそうだ。演技は学校の学芸会でしかしたことがない。医師になるとしても勉強面で大切なのは理系だった。得意ではない理系、演技の経験は少しだけ。それならば、理系を深め、日々の態度を改めて振り返り、自分磨きをし笑顔でいる。そう決めた。また、自分を信じて自分の思いと相手の思いを両方まとめ、受け入れる。その段階で一步踏み出し始めていると思う。次は、勉強もでき、人のためにできる心のやさしい穏やかな女性

になる。最後はオーディションを受けたり、劇団に入る。そうすれば、最初で最後の一步を踏み出せると思う。

そんな私が、夢を実現する姿を家族や友達、私の未来に協力してくれるみなさんに見てもらいたい。今、医師と俳優を両立した人はいないが今までの歴史を変えるチャンスをつかんで、今までの恩返しをしたい。そう思うと、絶対に両立してみんなを笑顔にし、どんなに大変なことでも、病気の治療でも闘っていきように飛びこんでいきたい。そして、どんな困難があっても諦めずに頑張る。

でも、家族や友達、先生たちには頼みがある。それは、諦めずに見守ってほしい。これは、現在の私、未来の私からのお願いだ。最後に意気込み。絶対に世界初の医師と俳優を両立する女性になる。

*こちらは、小学生『夢をかなえる』作文コンクールの「ライフプランシート」としても使えます。